

平成30年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	(港湾海岸) 海岸事業調査費			担当部局庁	沖縄振興局			作成責任者			
事業開始年度	昭和47年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(振興第三担当)			中島 洋			
会計区分	一般会計										
根拠法令(具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法			関係する計画、通知等	沖縄振興基本方針、沖縄振興計画						
主要政策・施策	沖縄振興			主要経費	公共事業						
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄振興計画に基づき、高潮や津波、波浪等による自然災害や海岸浸食から生命、財産を守るため、景観や生態系など自然環境に配慮した海岸保全に努めることを目的とする。										
事業概要(5行程度以内。別添可)	津波、高潮、波浪、海岸浸食による災害から背後の人命や財産防護、国土保全に資することを目的に、護岸等の整備に資する調査を行う。 ※港湾に係る海岸に限る 国費率 事業調査: 国10/10 ※内閣府で一括計上し、国土交通省で執行(「備考」欄参照。)										
実施方法	委託・請負										
予算額・執行額(単位:百万円)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求					
	予算の状況	当初予算	4.3	4.3	4.3	4.3					
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
		予備費等	-	-	-	-					
		計	4.3	4.3	4.3	4.3	0				
		執行額	4.3	4.3	4.3						
		執行率(%)	99%	99%	99%						
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	99%	99%	99%						
平成30・31年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由							
	海岸事業調査費	4.3									
	計	4	0								
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標33年度	目標最終年度-年度		
	津波、高潮等による災害から一定水準以上の安全性が確保(防護)されている海岸の整備の推進	防護面積の拡大	成果実績	ha	80.4	82.8	86.4	-	-		
			目標値	ha	-	-	-	92.7	-		
			達成度	%	86.7	89.3	93.2	-	-		
根拠として用いた統計・データ名(出典)	沖縄21世紀ビジョン実施計画(計画期間:平成29年度~平成33年度)										
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込	31年度活動見込			
	海岸事業調査件数	活動実績	件	1	1	1	1				
		当初見込み	件	1	1	1	1				
単位当たりコスト	算出根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込				
	執行額(X)/調査件数(Y)	単位当たりコスト	百万円	4	4	4	4				
		計算式	X/Y	4/1	4/1	4/1	4/1				

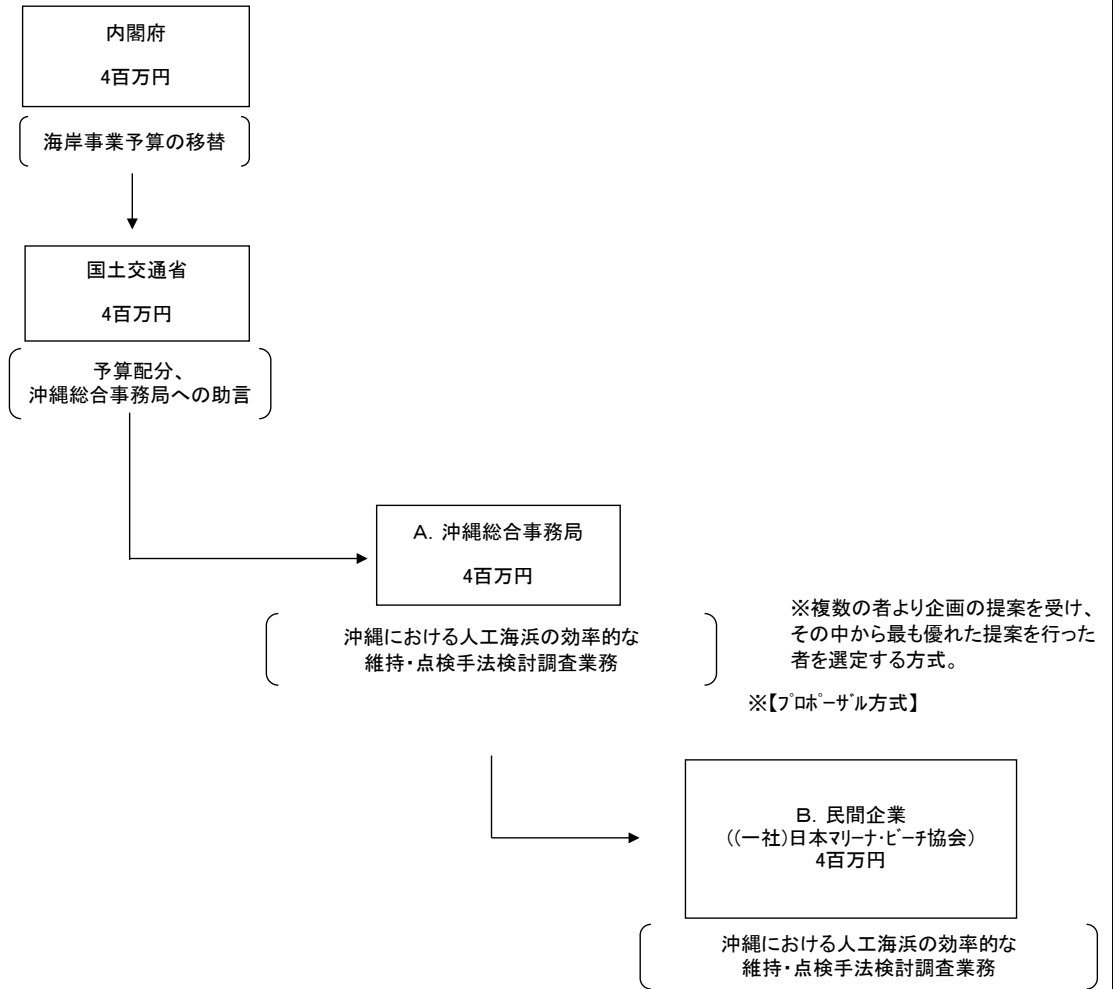
事業所管部局による点検・改善				
	項目	評価	評価に関する説明	
国 必 費 投 入 の 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	関係法令に基づき、海岸の保全を目的に国が実施している重要な事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	関係法令に基づき、海岸の保全を目的に国が実施している重要な事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	関係法令に基づき、海岸の保全を目的に国が実施している重要な事業である。	
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	入札手続きの透明性・競争性の確保に努めており、支出先は、適切な入札方式、手続きを経て決定している。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業目的に沿って予算を執行しており、その執行状況等を適切に把握・確認している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	事業目的に沿って予算を執行しており、その執行状況等を適切に把握・確認している。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的に沿って予算を執行しており、その執行状況等を適切に把握・確認している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	予算の効果的・効率的な執行に努めている。また資金の流れの検証ができるよう、契約額・支出額及び契約方式等を把		
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標に見合った成果実績をあげている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業目的に沿って、適切な手段・方法で実施している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みと同様な実績であり、見合ったものである。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	成果物は、海岸の整備の促進に十分に活用されている。	
関 連 事 業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			
	所管府省名	事業番号		事業名
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の効果的・効率的な執行に努めている。また、資金の流れの検証ができるよう、契約額・支出先及び契約方式等を把握している。 ・調査結果については、引き続き海岸事業の実施に活用していくことが必要。 ※予算の執行状況については、沖縄総合事務局を通じて確認している。		
	改善の方向性	引き続き、予算の効果的・効率的な執行等に努める。		
外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
備考				
内閣府においては、沖縄振興を目的とする事業のうち公共事業を中心とする関連事業の全体的な把握、事業相互間の進捗調整、計画に沿った事業の推進を図るため、これらの事業の経費を内閣府に一括計上し、これを事業執行官庁に移し替えて執行することにより、計画実施について効果的な総合調整を行っている。				

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	0101-④	平成23年度	0102	平成24年度	0104	平成25年度	0062
平成26年度	0059	平成27年度	0065	平成28年度	0058		
平成29年度	内閣府 (0061)						

※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



	A. 沖縄総合事務局			B. (一社) 日本マリナー・ビーチ協会		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	海岸事業調査費	沖縄における人工海浜の効率的な維持・点検手法検討調査業務	4.3	海岸事業調査費	沖縄における人工海浜の効率的な維持・点検手法検討調査業務	4.3
	計		4.3	計		4.3

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	沖縄総合事務局	2000012010019	沖縄における海岸保全施設の浸食対策検討調査業務	4.3		-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(一社) 日本マリナー・ビーチ協会	6010005018733	沖縄における海岸保全施設の浸食対策検討調査業務	4.3	随意契約 (企画競争)	1	99.2%	-